

181 待てば海路の日和あり

182 丸い卵も切りようで四角

183 ミイラ取りがミイラになる

184 身から出たさび

185 見ざる聞かざる言わざる

186 三つ子の魂百まで

187 実るほど頭の下がる稲穂かな

188 身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ

189 昔取った杵柄

190 無理が通れば道理引っ込む

191 目くそ鼻くそを笑う

192 目の上のこぶ

193 目は口ほどにものを言う

194 餅は餅屋

195 元の木阿弥

196 物言えば唇寒し秋の風

197 桃栗三年柿八年

198 門前の小僧習わぬ経を読む

199 安物買いの銭失い

200 痩せの大食い